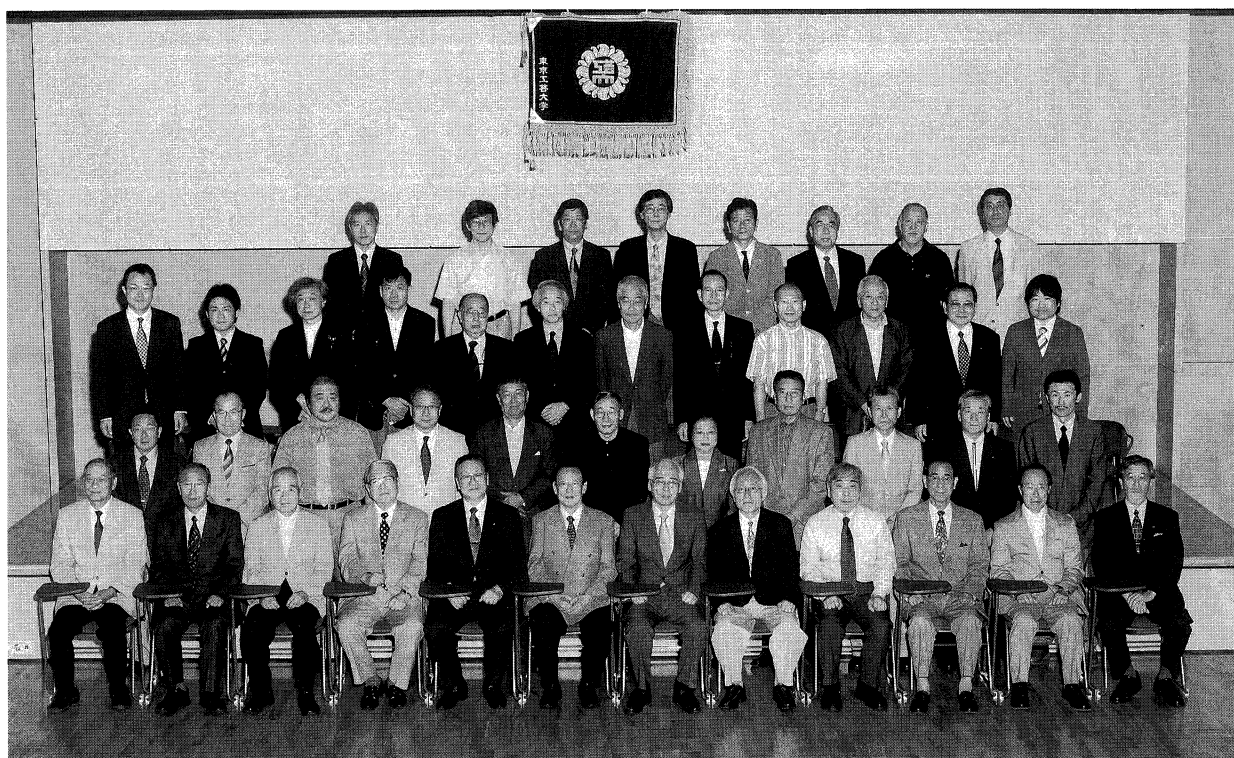


報告・東京工芸大学同窓会全国支部長会

—同窓会のさらなる活性化をめざして—

平成18年9月1日(金)~2日(土) 中野キャンパス—懇親会—厚木キャンパス



東京工芸大学同窓会全国支部長会 中野キャンパス 芸術情報館 平成18年9月1日

INDEX

全国支部長会・開催結果報告

東京工芸大学同窓会総務委員長 川名晴美

全国支部長一覧

広報委員よりお願い

..... ②~③

東京工芸大学芸術学部卒業・大学院修了 制作展2007のご案内

..... ④

ひろばのページ

..... ⑤~⑦

支部だより

新潟県支部 総会報告 支部長 堀江真雄

編集後記

..... ⑧

全国支部長会・開催結果報告

東京工芸大学同窓会総務委員長 川名晴美(34期)

平素は、東京工芸大学同窓会の運営に格別のご支援ご協力を頂き、厚くお礼申し上げます。さて、去る9月1日～2日に開催いたしました全国支部長会には、多数の支部役員の方々がご出席下さり、誠に有り難うございました。

お陰様で同窓会活性化の具体的対応に関して、学校側との意見交換や各支部間での情報交換が出来ましたこと、また躍進を続ける東京工芸大学の中野・厚木・両キャンパスにご案内出来ましたこと、そして久々に懇親の場が持てましたこと、大変喜んでるところでございます。

同窓会活性化の目的は、今更改めて申し上げるまでもないことですが、母校たる東京工芸大学の更なるステータスの高揚を通じて、我々同窓生自身の誇りをも高めつつ、母校の発展に寄与することにあります。

そのためには同窓生一人ひとりの地域での活動が、また日々の努力の積み重ねが、母校の存在感向上や認知度向上の推進に結びつくものと考えますが、先ずは地域に「核」を作ることが肝要かと存じます。即ち、知人だけの少人数でも結構ですから、時機を見て、支部単位での同窓会を開催するところからスタートして頂きたいと存じます。そして、その折の記録写真を添えて同窓会誌「ひろば」に掲載し、支部の全会員にその動きを知らしめる。この繰り返しで、その支部の同窓会参加者が増え、基盤が強化され、次への発展が約束されるものと信じます。

同窓生の一人ひとりの着実な行動の積み重ねが、東京工芸大学のファンづくりにも貢献すると考えているからでもあります。

今回の20年振り…に開催された全国支部長会を契機として、今改めて東京工芸大学同窓会の活性化に邁進下さいませよう、心よりご期待申し上げます。

なお、次回の全国支部長会は4年後に開催の予定でありますが、なるべく早い時期に、支部活性化の朗報をお聞かせ頂けますれば、誠に幸いです。

最後になりましたが、支部役員各位のご健勝と尚一層のご活躍を祈念申し上げますと共に、全国支部長会開催へのご協力に感謝申し上げます。

全国支部長会記録 (事務局)

- 一日 時 平成18年9月1日(金)～2日(土)
- 一 場 所 東京工芸大学芸術学部 芸術情報館 第一会議室
- 一 参加者 来賓3名 執行役員12名 理事13名 支部長15名 副支部長・相談役・顧問5名 合計48名

1. 全国支部長会議



田沼武能会長(24期)

川名総務委員長の司会により進行した。支部長並びに副支部長・役員が紹介され田沼会長より出席された支部長に委嘱状が伝達された。

また会長より「ひろば」等を活用し、新規の支部で少人数でも早く立ち上げその輪を広げる核となつて欲しい旨の要請がされた。



全国支部長会議(中野キャンパス)

支部の活性化について意見交換が行われ、主に次のような発言があった。関西支部の駕田支部長より現状報告があり関西支部は昭和8年に立ち上げており、会費制により短大・工学部の卒業生合同で開催している。6月の総会・1月の新年会のほか、印刷部会、奥様同伴の双美会(春&秋)も実施している。なお「関西支部会報」および平成18年度会報が事前配布された。

磯合東海支部長より東海支部は、3年前までは、まとまっていなかったが東海4県で25名の同窓会を実施した。

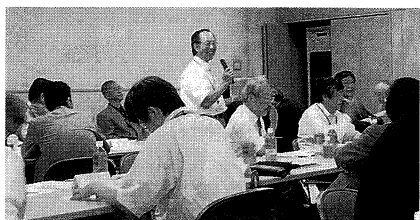
堀江新潟県支部相談役より新潟県支部は昭和42年に発足しており工学部の卒業生8名を含む148名の名簿がある旨説明された。会費は3,000円/年だが納金者が少なく1年更新の名簿に会費納入欄を設けて意識付けをしていくが当初ほどの効果は上っていない。8～9月に総会を開催し勉強会・懇親会を実施してい



支部長に委嘱状伝達《田沼武能会長(右)より村田明岩手県支部長(左・34期)へ》

る。また、記念写真展なども実施した。

支部長会とは異なるが、コミュニケーションの一つとして山岳部OB会は新年会、春・秋の山行懇親会会費10,000円、ゴルフを年2回を約50名で行っており、会報Hypomも18回発行している。



意見交換《堀江新潟県支部長(33期)》

簡淵北海道支部長より北海道支部は40年前に発足しているが活動がにぶっている旨の報告があった。また、一昨年に近所の本屋で無料で提供されていた「東京工芸大学」の名前が入った一筆箋をみつけたがこのようなグッズがあれば活用したい旨の発言があった。

新潟県支部長より通信費はどうすべきか、今回のような会の今後の予定はどうなのか等の質問があった。

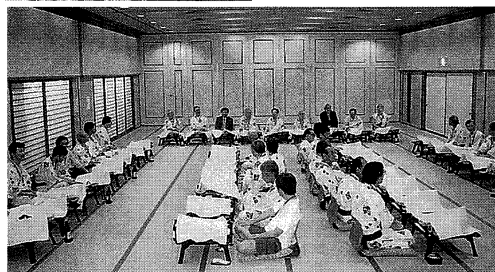


執行部からは今回のご意見を踏まえ費用については、再考したい。全国支部長会は4年に1度くらい全国持ち回りにて開催し、支部の活性化ならびに同窓会の発展に努力していく予定であり、支部の組織化を図りたい。

関西支部の松本顧問より、情報の提供、ならびに共有化を図って欲しい旨要請があった。



田沼武能会長(左)と
若尾真一郎芸術学部長(右)



2. 第2部 情報交換会(懇親会)

於：箱根湯本温泉・河鹿荘

芸術情報館からバスにて箱根湯本温泉河鹿荘の会場に移動、19時から若尾芸術学部長(同窓会相談役)久米工学部長・斉藤学部長(事務局長)の来賓の方々、田沼会長をはじめとする執行役員を中心に約41名にて相互親睦を深めた。

一例として京都の全国高校生の文化祭が開催された際、工芸大学の写真展も同時開催された。このような情報が早く伝わるように要望された。

○岩手県支部長の村田(明)氏より支部として入学の相談を受けた時、大学と高校の仲立ちとして機能したい。また、支部合同のプロツク会の開催も考えたいとの提言があった。

○川名専務理事および木村専務理事より、地域で身近に相談できる人として支部長の住所・氏名・顔写真をホームページに掲載したいとの要望が出された。また、卒業生の開催する写真展などのイベントもホームページに掲載したいと要望された。

3. 第3部 厚木キャンパス見学会

9月2日(土)9時箱根湯本を出発 厚木キャンパスへ。



小林信行学長 挨拶

到着後、2グループに分かれて本館写真スタジオ・オ・処理室・映像スタジオ・ビデオ編集室、新体育館諸設備および3号館メディアアート表現学科・アニメーション学科のスタジオ・工作室の諸設備および4号館オレンジ棟(旧女子短大棟・デザイン学科)HPCコースと諸設備を昼食を挟んで見学した。

最新の設備とそれらを駆使したユニークな活動内容に想いを新たにしたい見学であった。

◎支部長(平成18年9月1日現在)

北海道支部	第37期	筒 淵 美 允
青森県支部	第46期	坂 本 隆 隆
岩手県支部	第34期	村 田 明 道
宮城県支部	第31期	後 藤 隆 隆
秋田県支部	第34期	岩 田 次 夫
副支部長	第41期	小 泉 槇 子
山形県支部	第39期	守 谷 真 一
福島県支部	第39期	小 林 一 男
新潟県支部	第44期	小 林 俊 郎
相談役	第33期	堀 江 真 雄
長野県支部	第32期	滝 澤 一 彦
山梨県支部	第40期	真 武 武
栃木県支部	第31期	磯 貝 宏
群馬県支部	第40期	黒 柳 隆 之
埼玉県支部	第35期	豊 島 泰 之
千葉県支部	第38期	山 本 高 士
神奈川県支部	第47期	平 井 貞 幸
静岡県支部	第42期	松 野 崇
東海支部	第36期	磯 谷 武 美
副支部長	第37期	伊 藤 強 平
関西支部	第42期	駕 田 毅
副支部長	第40期	倉 橋 正 直
顧問	第30期	松 本 一 馬
石川県支部	第52期	小 坂 文 誉
福井県支部	第30期	下 村 耕 一
島根県支部	第55期	田 中 浩 史
鳥取県支部	第44期	立 木 一 光
岡山県支部	第39期	永 瀬 隆 一
香川県支部	第42期	西 尾 嘉 孝
徳島県支部	第45期	桑 村 憲 広
高知県支部	第43期	岡 本 竜 一
愛媛県支部	第24期	奥 田 昭 造
広島県支部	第46期	古 前 隆 士
山口県支部	第52期	村 田 武 司
全九州支部	第33期	永 井 宗 男
副支部長	第34期	堤 隆 志
副支部長	第45期	大 貝 幸 史
沖縄県支部	第37期	屋 良 勝 彦
富山県支部		
茨城県支部		

－ 広報委員会よりお願い －

ひろばには、支部の皆様から総会等のご報告をいただいておりますが、これを全国規模にし、順次ご報告いただく欄(支部だより)を設けます。ご報告のお願いをいたしますので、宜しくご協力下さい。

広報委員長 阪川武志(37期)

4. 散会

14時30分 厚木キャンパスをバスにて出発し、車にて、川名総務委員長より参加頂いた各支部長・相談役・顧問に対して謝辞があり、15時45分新宿西口に到着、散会した。

田沼会長からの伝言として、今回のような支部長会を4年毎に開催する計画である旨が、事務局を通じて伝えられた。

○見学を終えて13時30分から小林学長、加藤同窓会理事長(法人専務理事)斉藤事務局長らへ交えて意見交換会を開催した。

その中で、本学の充実した最先端設備やユニークな工業芸術活動をより全国的なものとするための広報活動や同窓会支部のあり方、そのための情報の共有化など前向きな意見が寄せられた。

小林学長より、地域の3大学との連携による広報活動、神奈川県内20数校の高校の校長らと会合など、広報活動の現状、また、同窓会推薦入学枠を設けていることなどの説明もあり有意義なミーティングであった。



厚木キャンパス見学

東京工芸大学 芸術学部卒業 大学院修了 制作展2007 のご案内

「芸術学部卒業・大学院修了制作展2007」を下記の概要にて開催いたします。本学の卒業・修了制作展は、メディアアーティストの育成という教育理念のもと、実践的なメディアアート教育の集大成として、卒業制作展を学内、学外会場で大規模に公開し、メディアアーティストとしてのデビューを支援するものです。卒業研究の作品制作への意欲の向上と、教育内容の更なる質的向上を目指します。卒業生の皆様にぜひ後輩たちの才気あふるる力、工芸大学の現在の力をご覧いただければ幸いです。お越しをお待ちしております。

【開催日】平成19年 **2月23日(金)、24日(土)、25日(日)**

【会場・時間】

六本木アカデミーヒルズ40

港区六本木6-10-1(六本木ヒルズ内40階)

地下鉄日比谷線「六本木」駅下車徒歩4分、

大江戸線「麻布十番」駅下車徒歩6分

東京工芸大学芸術情報館

中野区本町2-4-7(東京工芸大学中野キャンパス内)

地下鉄丸の内線、大江戸線「中野坂上」駅下車徒歩7分

テレビ朝日umu

港区六本木6-10-1(六本木ヒルズ内テレビ朝日本社1階)

地下鉄日比谷線「六本木」駅下車徒歩4分、

大江戸線「麻布十番」駅下車徒歩5分



	2月23日(金)	2月24日(土)	2月25日(日)
写真学科	六本木アカデミーヒルズ40 13:00~20:00	六本木アカデミーヒルズ40 10:00~20:00	六本木アカデミーヒルズ40 10:00~16:00
映像学科	六本木アカデミーヒルズ40 13:00~20:00	六本木アカデミーヒルズ40 10:00~20:00	六本木アカデミーヒルズ40 10:00~16:00
	東京工芸大学芸術情報館 11:00~20:00	東京工芸大学芸術情報館 10:00~20:00	東京工芸大学芸術情報館 10:00~17:30
デザイン学科	六本木アカデミーヒルズ40 13:00~20:00	六本木アカデミーヒルズ40 10:00~20:00	六本木アカデミーヒルズ40 10:00~16:00
メディアアート表現学科	六本木アカデミーヒルズ40 13:00~20:00	六本木アカデミーヒルズ40 10:00~20:00	六本木アカデミーヒルズ40 10:00~16:00
	テレビ朝日 umu 11:00~20:00	テレビ朝日 umu 10:00~20:00	テレビ朝日 umu 10:00~17:00
アニメーション学科	六本木アカデミーヒルズ40 13:00~20:00	六本木アカデミーヒルズ40 10:00~20:00	六本木アカデミーヒルズ40 10:00~16:00
大学院芸術学研究科	六本木アカデミーヒルズ40 13:00~20:00	六本木アカデミーヒルズ40 10:00~20:00	六本木アカデミーヒルズ40 10:00~16:00
	東京工芸大学芸術情報館 11:00~20:00	東京工芸大学芸術情報館 10:00~20:00	東京工芸大学芸術情報館 10:00~17:30

各会場とも入場無料で、事前予約等は不要です

ひろばのページ



田沼武能氏 (24期) 写真展 「武蔵野讃歌」

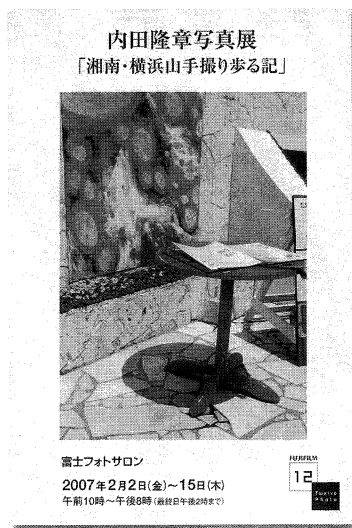
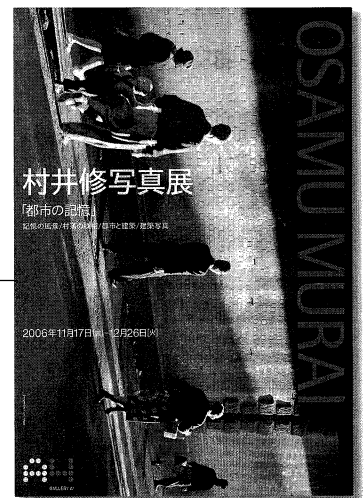
2006年10月13日(金)～19日(木)
東京・銀座・富士フォトサロン

村井修氏 (25期) 写真展

『都市の記憶』

— 記憶の風景 / 村落の様相 / 都市と建築 / 建築写真 —

2006年11月17日(金)～12月26日(火)
東京・江東区新砂、竹中工務店東京本店1F
主催：ギャラリーエークウッド



内田隆章氏 (26期) 写真展

「湘南・横浜山手撮り歩る記」

2007年2月2日(金)～15日(木)
東京・銀座・富士フォトサロン

「田沼会」

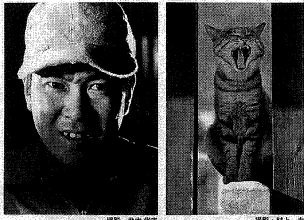
(芸術学部写真学科 フォトジャーナリズム研究室)
2006年11月25日 新宿にて

「田沼会」は田沼武能先生を囲んでの研究室同窓会です。毎年1回新宿の中華料理店で、芸術学部1期～5期のフォトジャーナリズム研究室(田沼研究室)の卒業生が集まり、楽しいひとときを過ごしています。(記・上田耕一郎・75期)



写大28期同好会展

—写大(現東京工芸大学)28期卒業生それぞれの写真展—



撮影：井本 俊康 撮影：村上 力



撮影：奥田 昇

出品者：井本 俊康・太田 孜・大谷 英之・奥田 昇・梶原 謙輔
千田 美・高岩 農・新島 良夫・村上 力・吉田 公一 (50音順)

2006年11月28日(火)～12月10日(日)

10:00am～6:00pm <入場無料>

(白曜・松日開館/月曜休館・月曜祝日の場合は翌日休館)

主催 社団法人 日本写真文化協会

Portrait
Gallery

写大28期同好会展

—写大(現東京工芸大学)28期卒業生

それぞれの写真展—

2006年11月28日(火)～12月10日(日) 東京・四谷・ポートレートギャラリー

主催：社団法人写真文化協会

出展：井本俊康、大田孜、大谷英之、奥田昇、梶原謙輔、千田晃、高岩農、新島良夫、村上力、吉田公一 (50音順)



2006 フォックス・タルボット賞 入賞作品発表

1979年に設けられましたフォックス・タルボット賞は、今回で第28回を迎えます。

2006年フォックス・タルボット賞は、10月11日に審査員の先生方による厳正なる審査の結果、入賞作品が決定いたしました。

第一席	『comic —喜劇的笑い—』	刑部 信人	芸術学部写真学科4年
第二席	『新宿』	山下 晃伸	芸術学部写真学科4年
第三席	『触れられなかった私』	国井 光司	芸術学部写真学科・研究生
佳作	『パパあるいわママの好きな人』	小浪 次郎	芸術学部写真学科2年
佳作	『ハンバーガー・モーメンツ』	岩切浩三郎	大学院芸術学研究所・修1年
佳作	『BASKETBALL』	伊藤 真吾	芸術学部写真学科3年
佳作	『灰色の断片』	佐藤 翔	芸術学部写真学科3年
佳作	『自然コウサイ』	猪瀬 浩行	芸術別科
モノクロ賞	『心空』	小野 努	芸術学部写真学科3年

審査委員 田沼武能(委員長) 奈良原一高 細江英公 中谷吉隆 立木義浩
上記の通り 2006年度 フォックス・タルボット賞の審査結果を発表します。

2006年10月12日

東京工芸大学 学長

小林 信行

東京工芸大学芸術学部

フォックス・タルボット賞運営委員長

若尾真一郎

記

○2006フォックス・タルボット賞表彰式

日時 平成18年11月5日(日) 午前11時00分から

表彰式終了後、パーティー。

場所 東京工芸大学中野キャンパス内写大ギャラリー

東京都中野区本町2-9-5

最寄り駅

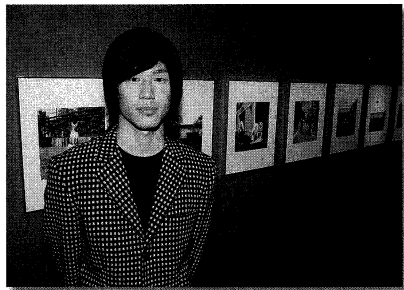
地下鉄丸の内線又は大江戸線「中野坂上駅」下車徒歩7分

○2006フォックス・タルボット賞写真展

期間 平成18年11月3日(金)～11月19日(日)

午前10時00分～午後8時00分、*展示期間中無休

会場 東京工芸大学中野キャンパス内写大ギャラリー



第一席『comic —喜劇的笑い—』
芸術学部写真学科4年 刑部信人氏

岩朝哲男氏 (29期) 写真展

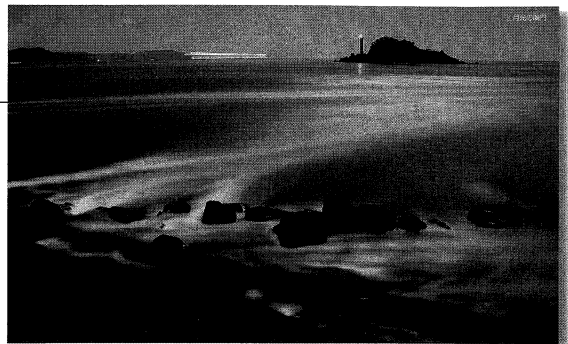
— 50年の歩みと「月光の鳴門」 趣味の「佛像彫刻」 —

2006年11月2日(木)～11月7日(火)
第10回徳島県民文化祭協賛事業
徳島市・阿波銀新町ビル・阿波銀プラザ



いあきてつお
岩朝哲男 略歴

- 1934 (昭9) 鳴門市撫養町南浜に生まれる
- 1954 (昭29) 東京写真短期大学(現 東京工芸大学)卒業
大阪三越写真室入社 坂本滋勇先生に師事
- 1956 (昭31) 第1回岩朝哲男写真展を鳴門、徳島で開催
- 1970 (昭45) 第2回写真展「東南アジアとアンコール
ワット」を丸新百貨店で開催
- 1977 (昭52) PPA (アメリカプロ写真家協会) 展で最高
賞のローンコレクションに2年連続入賞



第10回 徳島県民文化祭協賛事業
岩朝哲男写真展 50年の歩みと「月光の鳴門」及び趣味の「佛像彫刻」
'06年11月2日(木)～7日(火) AM10:00～PM5:00 会場/阿波銀プラザ
入館料/無料

- 1993 (平5) 徳島県写真師会 会長に就任
趣味で佛像彫刻を始める
- 1995 (平7) 社団法人 日本写真文化協会理事就任
- 2000 (平12) 日本写真文化協会「全国展」文部大臣
奨励賞受賞
- 2003 (平15) 日本写真文化協会功労賞受賞
- 2006 (平18) 鳴門ロータリークラブ会長就任
日本写真文化協会「全国展」準特選入賞

松野 崇 写真展
— 出逢いのポートレート —

ギャラリー えざき
2006年9月28日(木)～10月10日(火)11:00～18:00
休廊日 水曜 / 最終日 18:00 終了

9月28日(木)18:00～18:00 オープニングパーティーを行いますのでお楽しみにください。

ギャラリー えざき
静岡市葵区七間町8-20毎日江崎ビル2F
(再築シンボルロード)
TEL 054(255)2231 FAX 054(272)8260

松野崇氏 (42期) 写真展

松野崇写真展 — 出逢いのポートレート —

2006年9月28日(木)～10月10日(火) 静岡市 ギャラリーえざき

松野崇氏 (42期) 写真展

銀塩写真・松野崇展

- 2006年10月1日～10月31日
1部・光の色を写す・人物
- 2006年11月1日～11月30日
2部・静止した時間(風景)
動き出した物達

静岡市清水区・フェルケル博物館
ギャラリーコーナー 1F



銀塩 松野 崇展

- 平成18年10月1日～10月31日
1部 光の色を写す・人物
- 平成18年11月1日～11月30日
2部 静止した時間(風景)
動き出した物達

フェルケル博物館 ギャラリーコーナー 1F
(財団法人 清水港海博物館) am 9:30～pm 4:30 月曜休館

銀塩写真 松野 崇展

フェルケル博物館
(財団法人 清水港海博物館)
— ギャラリーコーナー —
平成18年 10月1日(日)→10月31日(火)
1部: 裸婦・肖像
平成18年 11月1日(水)→11月30日(木)
2部: 静止した時間・動き出した静物

特別企画展 11/28～11/28キョウトリアル・ワークショップ「写真の世界」

記憶と記録の機能を通してカメラを目的精度まで進化させました。技術が進歩し被写体が正確に写る様になりデジタル化によってイメージまで出来るようになると、写真本来の心の撞で写す事が忘れがちになります。私はカメラが持つメカニズムを心の延長として、写真に置き換え表現して行きたいと思っています。

総会報告

平成18年10月5日
支部長 堀江真雄

会員の皆様におかれましては益々ご健勝でお過ごしのこととお慶び申し上げます。

先日はご多忙のところ支部総会にご出席下さいまして誠に有り難うございました。

今回は阪川教授からは大学の近況をお聞かせいただき、そして長年産経新聞記者として活躍してこられた渡辺富治氏(30期)の「新聞記者のこぼれ話あれこれ」と題して大変に面白いお話をしていただきました。

今回の総会は30期の十日町の渡辺さんにお骨折りいただき、あてま高原リゾート「ベルナティオ」で久しぶりの一泊どまりの総会を開催し、ゆったりとした時間の中で楽しい会合がもてましたことを大変喜んでおります。

今回の総会で役員改選が行われ、小林俊郎(44期)さんが新支部長に就任されました。続いて新役員も総会で承認されましたので報告いたします。

相談役 堀江真雄 (33期)
支部長 小林俊郎 (44期)
副支部長 小林康生 (44期)
副支部長 長谷川隆 (56期)
会計 竹内和弘 (58期)
会計監査 桜井邦彦 (36期)

小林支部長を中心にして新役員で会合を持ち、今後の支部活性化と支部運営について検討され、同窓会の発展にご尽力いただきます。

9月1日に「東京工芸大学同窓会全国支部長会」が中野キャンパス芸術情報館で開催され「支部活性化について」の討議がされ、新潟県支部の活動状況を報告してきました。箱根湯本で宿泊し、翌日は厚木キャンパスの施設見学が行われました。

大学の近況は中野・厚木キャンパス合わせて4,400名、うち中野キャンパス700名の在校生で、今までの卒業生は延べで3万2,000名となります。芸術学部は「写真学科」「映像学科」「デザイン学科」「メディアアート学科」「アニメーション学科」と来年度には「マンガ学科」が新設され6学科となります。

少子化と大学新設の規制緩和により、大学の40%は定員割れ、30%の大学は赤字経営で大学経営環境が厳し

くなっています。全国の同窓会支部活動を通じて大学の知名度を上げ優秀な人材を送り込むことがこれからの課題となりました。

私が支部長になり11年になりました。この間、皆様のご協力で支部創立30周年記念の「20世紀の写真・オリジナルプリント展」も開催する事ができましたし、イベント会計250,839円も引き継ぐことが出来ました。長い間ご支援とご鞭撻いただきました役員の方と会員の皆様に厚く感謝し御礼を申し上げます。

私共役員にいただきましたご支援とご鞭撻を引き続き新役員に賜いますことをお願いして総会報告とさせていただきます。

以上



新潟県支部総会 2006年9月11日～12日 新潟県当間高原リゾート・ベルナティオ

編集後記

今号は、東京工芸大学芸術学部の卒業制作・大学院の修了制作の展覧会のお知らせをするために、時期をずらしました。ご了解ください。早いもので芸術学部が発足して10回目の卒業生がこの3月に誕生します。あっという間のように感じます。大学からご案内いたしました卒業・修了制作展は、芸術学部の最初の卒業のときから開催しています。この制作展の開催には、若尾真一郎芸術学部長が大変力をいれており、ぜひ卒業生の皆様に見ていただきたいと申しております。本年は東京の六本木ヒルズ、テレビ朝日umu、中野キャンパス芸術情報館を会場にして、2月23日から25日までです。どうぞご覧ください。 記：阪川武志 (37期)